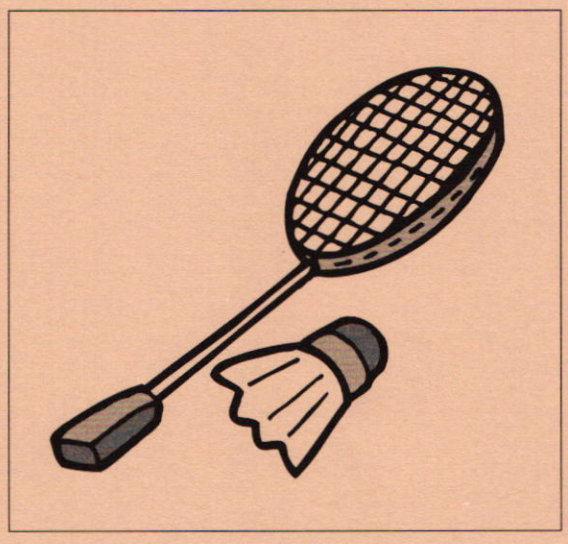
第33回 全国高等専門学校体育大会
第22回 全日本高等専門学校バドミントン選手権大会



期　日　平成10年8月8日(土)・9日(日)

場　所　八王子市民体育館

主　　催　財団法人 日本バドミントン協会
　　社団法人 全国高等専門学校体育協会
担当地区　関東信越地区
担　当　校　木更津工業高等専門学校
競技開催校　東京工業高等専門学校
主　　管　東京都バドミントン協会
　　社団法人 全国高等専門学校体育協会バドミントン競技専門部
　　東京工業高等専門学校
後　　援　文部省，財団法人日本体育協会，東京都
　　東京都教育委員会，財団法人東京都体育協会，八王子市
　　八王子市教育委員会，財団法人八王子市体育協会

社団法人　全国高等専門学校体育協会マーク

全国高等専門学校体育協会マーク



手は技術を表わす。
手を開いた親指の部分を首、他の４本を翼にして、鳩を表徴している。
鳩は平和と共に伝書鳩の速力と正確さを表徴する。
下の楕円は大地を意味し、技術がしっかりと地についたものであることを求める。
心、技、体の３つが立派に調和した姿を青年諸君に強く期待する。
私はこのような心持でこのマークを作ったのである。
昭和４２年盛夏　　赤　澤　鉞太郎

作家のご紹介

元　京都高等工芸学校助教授
元　京都市染色試験所図案部長

◈◈◈◈◈◈◈◈◈◈◈◈◈ 目　　次 ◈◈◈◈◈◈◈◈◈◈◈◈◈

あいさつ・祝辞……2

大会実施要項……6

大会役員……8

大会本部一覧……11

☆•☆

あいさつ……13

大会日程……15

大会役員……16

競技役員……20

第22回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会実施要項……22

競技運営上の注意事項・審判上の注意事項……24

体育館使用上の注意事項……25

競技会場図……26

タイムテーブル……27

競技組み合せ……28

選手名簿……33

栄光の記録……41

競技成績記録用紙……44

競技会場案内図……46

あ　い　さ　つ

財団法人　日本バドミントン協会
会長　櫻　内　義　雄



このたび、第22回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会が、八王子市民体育館で開催されますことは誠に喜ばしいかぎりであります。

全国各地の予選を勝ち抜かれ、晴れの代表として出場された選手諸君はこれまでたゆまぬ練習をつまれ、本大会を目指してこられたものと推察いたします。日頃の成果を存分に発揮され、正々堂々と、全力を尽くし、輝かしい成績を挙げられることを期待しております。

本大会は競技技術の向上はもとより、心身の成長を培い、健全なスポーツ精神を養う場でもあります。勝敗のみにこだわることなく、この大会を機に、高等専門学校相互の親睦や交流がより一層深められ、さらに、本大会で得られた友情や交流の経験が今後の諸君の人生の中で生かされることを願ってやみません。

おわりに、本大会の開催にあたりご尽力をいただきました関係者の皆様に深く感謝の意を表しますとともに、本大会の今後のご発展を心からお祈り申し上げまして挨拶といたします。

あ　い　さ　つ

社団法人　全国高等専門学校体育協会
会　長　斉藤　正三郎



このたび、日本の情報の発進地で日本の中央に位置するここ関東信越を担当地区として開催されます第33回全国高等専門学校体育大会に、全国62校の高等専門学校を代表する学生諸君が集い、盛大なる若人の祭典が開催される運びとなりましたことは、誠に喜びにたえません。

木更津工業高等専門学校を担当校とし、同校ならびに茨城工業高等専門学校、小山工業高等専門学校、群馬工業高等専門学校、東京工業高等専門学校、東京都立航空工業高等専門学校、育英工業高等専門学校、神戸市立工業高等専門学校の８校を開催校として行われるこの大会に、全国８地区の予選を勝ち抜いて出場の栄誉を得られた諸君が、14種目の競技において日頃の鍛錬の成果を余すことなく発揮され、正々堂々全力を尽くして健闘されるとともに、競技を通じて相互の友情を深められることを期待してやみません。

本大会の目的は、高等専門学校教育の一環として、学生に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な学生を育成し、加えて高等専門学校相互の親睦をはかることにあります。

諸君ひとりひとりはこの大会の目的を念頭におかれ、高等専門学校の学生として、またスポーツマンとしてふさわしい節度ある行動のもとに、所期の目的を達成されますよう切望いたします。

終わりに、本大会の開催に当たり、並々ならぬご尽力をいただきました各競技開催校の関係各位に深く感謝いたしますとともに、ご後援くださいました文部省、日本体育協会、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、東京都、ひたちなか市、水戸市、小山市、栃木市、前橋市、木更津市、千葉市、市原市、白子町、八王子市、府中市、神戸市をはじめ多数の関係機関、関係団体、またご協力くださいました多くの皆様に対し厚く御礼申し上げます。

祝　　辞

文部大臣　町村　信孝



第33回全国高等専門学校体育大会が、全国から多数の選手役員の参加を得て、盛大に開催されるに当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

近年、国民のスポーツや健康に対する関心がとみに高まっており、本大会に参加された選手皆さんも、日ごろからスポーツに親しみ、充実した学校生活を過ごされていることと思います。このことは、皆さんが生涯にわたってスポーツを愛好し、明るく活力に満ちた生活を送られる上で誠に有意義なことであり、今後の人生においても貴重な体験となることでしょう。

本大会は、スポーツを通じて心身ともに健康な学生の育成と相互の親睦を図ることを目的として開催される、我が国の高等専門学校における体育の一大イベントであります。

選手の皆さん、どうか各競技において日ごろ鍛えられた力と技を存分に発揮し、フェアプレーの精神で、はつらつとした競技を展開してください。そして全国各地から集まった仲間との交流を深められるとともに、たくさんの良き青春の思い出をつくっていただきたいと思います。

終わりに、本大会の開催に御尽力された関係の皆様に深く敬意を表しますとともに、本大会が今後ますます発展していくことをお祈りして、お祝いの言葉といたします。

（このプログラムは、平成10年７月24日現在で作成したものです。）

あ　い　さ　つ

第33回全国高等専門学校体育大会
実行委員長　山田　勝兵



このたび、全国の高等専門学校62校を代表する2,000名を超える選手諸君をここ関東信越地区にお迎えし、第33回全国高等専門学校体育大会を開催できますことは、誠に喜びに堪えません。関東信越地区の国公私立各高専及び担当校を代表して心から歓迎申し上げます。

本体育大会は、茨城（硬式野球･水泳）、小山（テニス）、群馬（サッカー）、木更津（陸上競技・ソフトテニス・柔道・バレーボール）、東京（バスケットボール・ハンドボール・バドミントン）、東京都立航空（剣道）、育英（卓球）の関東信越地区の７高専に、近畿地区の神戸市立（ラグビーフットボール）を加えた計８高専で開催されます。全国大会が関東信越地区を中心に開催されますのは平成４年度に続いてこれで７回目となります。

今大会の大会スローガンは、“競え、輝け、若き力”で、若き選手諸君の溌剌とした熱き健闘を期待しています。

また、大会のシンボルマークは、関東信越地区を背景に、選手が大地を踏みしめ、飛躍して輝くことをイメージし、これは参加記念のメダルにも刻まれています。

各地区の予選を経てこの全国大会出場の栄誉に輝いた選手諸君は、日頃の鍛錬の成果を発揮され、悔いのない競技を展開して、青春時代の思い出の一ページを残していただきたいと思います。

また、この全国大会は、各競技を通じて目的を同じくする全国高専の多くの友人達と交流し、親睦を深める機会でもあります。

さらには、各競技開催校及び競技会場のある地域は、それぞれ特徴のある環境を持っています。選手諸君もこの機会に関東信越地区の各地を訪ね、競技への参加とともに、よき思い出としていただければ幸いです。

なお、今大会に参加される選手諸君が滞在中は少しでも快適に過ごせるよう、また競技に十分な力が発揮できるよう、茨城、小山、群馬、東京、東京都立航空、育英、木更津の各高専の学生及び教職員は努力してきましたが、至らぬ点があればお許しいただきたいと存じます。

最後に、今大会の開催に当たり、多大な御支援、御協力をいただきました関係諸団体ならびに関係各位に心から感謝申し上げまして、歓迎の挨拶といたします。

第33回(平成10年度)全国高等専門学校体育大会実施要項

1．開催趣旨

全国高等専門学校体育大会は、高等専門学校教育の一環として、学生に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成するとともに高専相互の親睦を図ることを目的として開催する。

2．主　　催

社団法人　全国高等専門学校体育協会
財団法人　日本バスケットボール協会
財団法人　日本バレーボール協会
財団法人　全日本柔道連盟
財団法人　日本サッカー協会
財団法人　日本ラグビーフットボール協会
財団法人　日本ハンドボール協会
財団法人　日本テニス協会
財団法人　日本バドミントン協会

3．後　　援

文部省
(財)日本体育協会、(財)日本陸上競技連盟、(財)日本ソフトテニス連盟、(財)日本卓球協会、(財)全日本剣道連盟、(財)日本水泳連盟
茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、東京都
茨城県教育委員会、栃木県教育委員会、群馬県教育委員会、千葉県教育委員会、東京都教育委員会　兵庫県教育委員会
ひたちなか市、水戸市、小山市、栃木市、前橋市、木更津市、千葉市、市原市、白子町、八王子市、府中市、神戸市
ひたちなか市教育委員会、水戸市教育委員会、小山市教育委員会、栃木市教育委員会、前橋市教育委員会、木更津市教育委員会　千葉市教育委員会、市原市教育委員会　白子町教育委員会、八王子市教育委員会、府中市教育委員会、神戸市教育委員会
(財)茨城県体育協会、(財)栃木県体育協会、(財)群馬県体育協会、(財)千葉県体育協会、(財)東京都体育協会
ひたちなか市体育協会、(財)水戸市スポーツ振興協会、小山市体育協会、栃木市体育協会、前橋市体育協会、木更津市体育協会、千葉市体育協会、(財)市原市体育協会、白子町体育協会、八王子市体育協会、府中市体育協会
茨城県軟式野球連盟、栃木県テニス協会、群馬県サッカー協会、千葉陸上競技協会、千葉県バレーボール協会、千葉県ソフトテニス連盟　千葉県柔道連盟　東京都バスケットボール協会、東京都ハンドボール協会、東京都バドミントン協会、東京都剣道連盟、東京都学校剣道連盟、日本卓球協会、杉並区卓球連盟
朝日新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、日刊工業新聞社、日本工業新聞社、下野新聞社、上毛新聞社、千葉日報社、文教ニュース社

4．担当地区　　関東信越地区

5．担　当　校　　木更津工業高等専門学校

6．開　催　校　　茨城工業高等専門学校、小山工業高等専門学校
群馬工業高等専門学校、木更津工業高等専門学校
東京工業高等専門学校、東京都立航空工業高等専門学校
育英工業高等専門学校、神戸市立工業高等専門学校

7．大会期日　　平成１０年８月８日(土)・９日(日)（但し、ハンドボールは８月１日(土)～２日(日)・テニスは８月５日(水)～７日(金)・バスケットボールは８月６日(木)～７日(金)・サッカーは８月８日(土)～11日(火)・卓球は８月９日(日)～10日(月)・水泳は８月10日(月)）

平成11年１月４日(月)・５日(火)・７日(木)・９日(土)
(冬季は、ラグビーフットボールのみ)

８．競技種目・競技日程・競技会場・競技開催校　別紙一覧表のとおり

９．大会事務局
第33回全国高等専門学校体育大会事務局を、木更津工業高等専門学校内に置く。
各種目ごとの事務局は当該競技開催校に置く。

10．競技方法　各種目別競技要項による。

11．参加資格及び参加人数
全国高等専門学校体育大会開催規則（制定　平成6．3．29総会）及び各種目別競技要項による。

12．表　　彰
全国高等専門学校体育大会開催規則（制定　平成6．3．29総会）及び各種目別競技要項による。

13．参加甲込方法　　各種目別競技要項又は各種目毎に定めた方法による。

14．競技の組合せ　　各種目別競技要項又は各種目毎に定めた方法による。

15．選手の変更　　各種目別競技要項又は各種目毎に定めた方法による。

16．開会式及び閉会式
(1)　総合開会式は実施しない。
(2)　種目別開会式及び閉会式については、各種目別競技要項又は各種目毎に定めた方法による。

17．打合せのための時間
競技種別において必要がある場合は、試合開始前、打合せのための時間を設けることができる。

18．分担金及び参加料
(1)　分担金
分担金は、１校当たり225,000円とし、別途、社団法人全国高等専門学校体育協会事務局から請求書が送付されるので、それにより社団法人全国高等専門学校体育協会事務局に納付する。
(2)　参加料
ア．団体戦は　各種目別競技要項記載の金額とする。１チーム当たりの金額は、「1,500円×最大登録選手数」により積算する。（ただし、ラグビーフットボールは１チーム当たり3,000円とする。）
イ．個人戦は、選手１人当たり1,500円とする。
ウ．団体戦に参加した選手が個人戦に参加する場合は、重複して参加料は徴収しない。
エ．納付は、各種目別競技要項又は各種目ごとに定めた方法による。
なお、既納の参加料は返還しない。

19．宿　　舎　　宿舎の斡旋を希望する学校には、競技開催校で斡旋する。

20．その他
(1)　選手の競技中の事故については、主催者側で応急処置を施すが、その後の処置は当該校で行うこと。
(2)　選手は、必ず健康保険証又はそれに代わるものを持参すること。
(3)　日本体育・学校健康センターの災害共済給付金の請求に使用する所定の用紙を各学校で持参すること。

大　会　役　員

名　誉　会　長

㈶日本バレーボール協会会長	村　井　　勉
㈶全日本柔道連盟会長	嘉　納　行　光
㈶日本サッカー協会会長	岡　野　俊一郎
㈶日本ハンドボール協会会長	米　倉　　功
㈶日本テニス協会会長	中牟田　喜一郎
㈶日本バドミントン協会会長	櫻　内　義　雄

会　　長

宮城工業高等専門学校長　斉　藤　正三郎

副　会　長

神戸市立工業高等専門学校長	松　本　安　夫	育英工業高等専門学校長	フランス・ヘンドリックス
茨城工業高等専門学校長	木　村　　直	小山工業高等専門学校長	山　口　淳　三
群馬工業高等専門学校長	桑　形　昭　正	木更津工業高等専門学校長	山　田　勝　兵
東京工業高等専門学校長	松　本　浩　之	長岡工業高等専門学校長	小　川　正　二
長野工業高等専門学校長	浅黄谷　剛　寛	都立航空工業高等専門学校長	羽　生　隆　昭
都立工業高等専門学校長	吉　川　幸　宏		
㈶日本ハンドボール協会副会長	渡　邊　佳　英	㈶日本ハンドボール協会副会長	中　澤　重　夫
㈶日本ハンドボール協会副会長	冨　田　寛　治	㈶日本ハンドボール協会専務理事	市　原　則　之
㈶日本テニス協会副会長	若　原　泰　之	㈶日本テニス協会副会長	西八條　　實
㈶日本テニス協会副会長	川　延　榮　一	㈶日本バドミントン協会副会長	山　口　開　生
㈶日本バドミントン協会副会長	戸　田　清　一	㈶日本バドミントン協会副会長	綿　貫　民　輔
㈶日本バドミントン協会専務理事	小　飼　栄　一		

顧　　問

文部省高等教育局長	佐々木　正　峰	文部省体育局長	遠　藤　昭　雄
㈶日本体育協会会長	安　西　孝　之	㈶日本バスケットボール協会会長	辻　　兵　吉
㈶全日本剣道連盟会長	武　安　義　光	㈶日本サッカー協会副会長	小　倉　純　二
㈶日本サッカー協会副会長	釜　本　邦　茂	㈶日本サッカー協会副会長	川　淵　三　郎
㈶日本水泳連盟会長	古　橋　廣之進		
茨城県知事	橋　本　　昌	栃木県知事	渡　辺　文　雄
群馬県知事	小　寺　弘　之	千葉県知事	沼　田　　武
東京都知事	青　島　幸　男		

茨城県教育長　川俣勝慶
群馬県教育長　関根正喜
東京都教育長　市川正
ひたちなか市長　清水昇
小山市長　船田章
前橋市長　萩原弥惣治
千葉市長　松井旭
白子町長　林和雄
府中市長　吉野和雄
ひたちなか市教育長　川又正義
小山市教育長　菅沼基訓
前橋市教育長　早部賢一郎
千葉市教育長　飯田征男
白子町教育長　鵜澤和一
府中市教育長　吉野裕久
(財)茨城県体育協会会長　山口武平
(財)群馬県体育協会会長　佐田武夫
(財)東京都体育協会会長　鈴木俊一
ひたちなか市体育協会会長　清水昇
小山市体育協会会長　鈴木三喜
前橋市体育協会会長　佐田武夫
千葉市体育協会会長　大木康司
白子町体育協会会長　宗島慶明
府中市体育協会会長　小林哲蔵
茨城県軟式野球連盟会長　岡部英男
群馬県サッカー協会会長　松木正忠
千葉県バレーボール協会会長　新堀道夫
千葉県柔道連盟会長　山口宏
東京都ハンドボール協会会長　渡邊佳英
東京都剣道連盟会長　景山二郎
日本卓球協会会長　飯田亮

栃木県教育長　古口紀夫
千葉県数育長　中村好成

水戸市長　岡田広
栃木市長　鈴木乙一郎
木更津市長　須田勝勇
市原市長　小出善三郎
八王子市長　波多野重雄

水戸市教育長　堀川賢壽
栃木市教育長　鈴木功一
木更津市教育長　西村尭
市原市教育長　大野皎
八王子市教育長　田中博

(財)栃木県体育協会会長　渡辺文雄
(財)千葉県体育協会会長　松戸節三

(財)水戸市スポーツ振興協会理事長　古橋貞夫
栃木市体育協会会長　塚田賢一郎
木更津市体育協会会長　鳥飼明二郎
(財)市原市体育協会会長　藤田明男
八王子市体育協会会長　盛吉順一

栃木県テニス協会会長　増渕賢一
千葉陸上競技協会会長　朝比奈正行
千葉県ソフトテニス連盟会長　楠武徳
東京都バスケットボール協会会長　喜多輝郎
東京都バドミントン協会会長　清水務
東京都学校剣道連盟会長　服部敏幸
杉並区卓球連盟会長　田舛彦介

参与

苫小牧工業高等専門学校長　佐久間哲郎
鳥羽商船高等専門学校長　飯島幸人
米子工業高等専門学校長　鈴木充
北九州工業高等専門学校長　坂本正史
(財)日本テニス協会専務理事　南操二

秋田工業高等専門学校長　萬谷志郎
舞鶴工業高等専門学校長　白石成人
弓削商船高等専門学校長　黒澤昭
奈良工業高等専門学校長　福岡秀和
(財)日本テニス協会実行委員長　田中耕二

実行委員会

実行委員長

木更津工業高等専門学校長　山田勝兵

副委員長

茨城工業高等専門学校長	木村　直	小山工業高等専門学校長	山口淳三
群馬工業高等専門学校長	桑形昭正	東京工業高等専門学校長	松本浩之
長岡工業高等専門学校長	小川正二	長野工業高等専門学校長	浅黄谷剛寛
都立航空工業高等専門学校長	羽生隆昭	都立工業高等専門学校長	吉川幸宏
神戸市立工業高等専門学校長	松本安夫	育英工業高等専門学校長	フランス・ヘンドリックス
木更津工業高等学校教務主事	小平眞次	木更津工業高等専門学校学生主事	高橋邦夫

委員

茨城工業高等専門学校学生主事	鶴田紀興	小山工業高等専門学校学生主事	岡部　章
群馬工業高等専門学校学生主事	水出正一	東京工業高等専門学校学生主事	阿久沢　昇
長岡工業高等専門学校学生主事	久保田敬三	長野工業高等専門学校学生主事	宮下重敬
都立航空工業高等専門学校学生主事	芝沼弘允	都立工業高等専門学校学生主事	西山明彦
神戸市立工業高等専門学校学生主事	藤田利明	育英工業高等専門学校学生主事	今野義孝
茨城工業高等専門学校体育主任	添田孝幸	小山工業高等専門学校体育主任	塩入俊次
群馬工業高等専門学校体育主任	櫻岡　広	木更律工業高等専門学校体育主任	篠村朋樹
東京工業高等専門学校体育主任	古屋正俊	長岡工業高等専門学校体育主任	山井正己
長野工業高等専門学校体育主任	塚田修三	都立航空工業高等専門学校体育主任	上野晴弘
都立工業高等専門学校体育主任	古川浩洋	神戸市立工業高等専門学校体育主任	岸本三男
育英工業高等専門学校体育主任	横山東太郎		
茨城工業高等専門学校事務部長	本田耕二	小山工業高等専門学校事務部長	永田純作
群馬工業高等専門学校事務部長	廣田　豊	木更津工業高等専門学校事務部長	吉田泰三
東京工業高等専門学校事務部長	松田靖夫	長岡工業高等専門学校事務部長	山田　譲
長野工業高等専門学校事務部長	嶋田武司	都立航空工業高等専門学校事務室長	雨宮武彦
都立工業高等専門学校事務室長	山崎島根	神戸市立工業高等専門学校事務室長	井出正治
育英工業高等専門学校事務部長	平山吉晴		

第33回全国高等専門学校体育大会－大会本部－			
担当校：木更津工業高等専門学校			
競技種目	競技日程	競技開催校	競技会場
陸上競技	平成10年 8月8日（土）	木更津工業高等専門学校	千葉県総合運動場陸上競技場 千葉市稲毛区天台町285
バスケットボール	平成10年 8月6日（木） 8月7日（金）	東京工業高等専門学校	府中市立総合体育館 府中市矢崎町5－5
バレーボール	平成10年 8月8日（土） 8月9日（日）	木更津工業高等専門学校	千葉ポートアリーナ 千葉市中央区問屋町1－20
ソフトテニス	平成10年 8月8日（土） 8月9日（日）	木更津工業高等専門学校	サニーインむかい 千葉県長生郡白子町中里4369
卓球	平成10年 8月9日（日） 8月10日（月）	育英工業高等専門学校	駒沢オリンピック公園総合 運動場体育館 世田谷区駒沢公園1－1
柔道	平成10年 8月8日（土）	木更津工業高等専門学校	市原市中央武道館 市原市能満1471－1
剣道	平成10年 8月8日（土）	都立航空工業高等専門学校	東京武道館 足立区綾瀬3－20－1
硬式野球	平成10年 8月8日（土） 8月9日（日）	茨城工業高等専門学校	A会場：ひたちなか市総合運動 公園市民野球場 ひたちなか市馬渡605－9 B会場：ひたちなか市那珂湊運 動公園第一野球場 ひたちなか市阿字ヶ浦町552－40
サッカー	平成10年 8月8日(土)～ 8月11日（火）	群馬工業高等専門学校	A会場：県営競技場内サッ カー・ラグビー競技場 B会場：県営競技場内陸上競技 補助グランド 前橋市敷島町66
ラグビーフットボール	平成11年 1月4日(月)・ 5日(火)・7日 (木)・9日(土)	神戸市立工業高等専門学校	神戸総合運動公園陸上競技場 神戸市須磨区緑台
ハンドボール	平成10年 8月1日（土） 8月2日（日）	東京工業高等専門学校	駒沢体育館・駒沢屋内球技場 世田谷区駒沢公園1－1
テニス	平成10年 8月5日(水)～ 8月7日(金)	小山工業高等専門学校	栃木市総合運動公園 栃木市川原町760
バドミントン	平成10年 8月8日（土） 8月9日（日）	東京工業高等専門学校	八王子市民体育館 八王子市台町2－3－7
水泳	平成10年 8月10日（月）	茨城工業高等専門学校	水戸市青柳公園市民プール 水戸市水府町864

第33回 全 国 高 等 専 門 学 校 体 育 大 会

第22回 全日本高等専門学校バドミントン選手権大会

歓迎のことば

東京都バドミントン協会
会長　清水　務



この度、第22回全国高等専門学校バドミントン選手権大会が東京・八王子市民体育館に於いて、全国から予選を勝ち抜いた選手の皆さんや、監督、役員の方々をお迎えして盛大に開催されますことは、誠に喜ばしく心より歓迎申しあげます。

本大会は、全国の高等専門学校でバドミントンを愛好する皆さんが一堂に会する最大のイベントであり、日頃の練習を通して習得した技術を発揮する場であるとともに互いの親睦と友好を深める又とない機会であります。

どうか選手の皆さん、厳しい暑さの中ですがさわやかに競技をして下さい。そしてこの大会に集まった全国の仲間と友情の輪をひろげ、青春の良き思い出となることを期待してやみません。当協会では小、中、高校生からの一貫した選手強化は申すに及ばず、一般、家庭婦人や職場のスポーツとしてのバドミントンの普及発展を図り、健康で豊かな心身づくりに努力しているところであります。

終わりに、本大会の成功と今後の発展を心より祈念申し上げますとともに、開催にあたりご尽力をいただきました関係各位に厚く御礼申し上げ歓迎のあいさつといたします。

選手の皆さん、せいいっぱいがんばって下さい。

歓迎のごあいさつ

東京工業高等専門学校
校　長　松本　浩之



第22回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会が八王子市のご協力により当地で開催される運びとなりましたことは誠に喜びに堪えません。

本競技の主幹校をおおせつかっている東京高専校長として、各地の予選を経てこの全国大会出場の栄誉に輝いた選手諸君を心から歓迎いたします。

選手諸君は、勉学のかたわら、自らの意志で心身の鍛練に励まされて来たことに対して敬意を表したいと思います。現状での自分の意志の力、体力の限界を知り、また、仲間を信頼し、信頼される協調の精神、チームワークの力を知ることは、皆さんの将来にとって大きな糧となると信じています。単に勝負にこだわらず、フェアープレイの精神で日頃の成果をあますことなく発揮され悔いのないように競技を楽しみ、更に各高専の多くの友人たちとの親睦を深め、青春時代の思い出の一ページとしていただければと思います。

終わりに、本大会を開催するに当たり多大のご支援を賜った、東京都バドミントン協会、八王子市バドミントン連盟をはじめ、関係諸団体および役員各位に深く感謝申し上げ、歓迎のご挨拶といたします。

大　会　日　程

［会　議］　8月7日（金）17：00～　代表者会議

［競　技］　八王子市民体育館

8月8日（土）9：00　開　場

9：15～　開会式

9：30～　競技開始　団体戦

男子個人戦複

女子個人戦複

8月9日（日）9：00～　開　場

9：30～　競技開始　男子個人戦単

女子個人戦単

競技終了後　閉会式

式　典　次　第

開　会　式

1　選手整列
2　開式のことば
3　開会宣言
4　開会のことば
5　歓迎のことば
6　優勝楯返還・レプリカ授与
7　来賓あいさつ
8　選手宣誓
9　競技・審判上の注意
10　閉式のことば
11　選手退場

閉　会　式

1　選手整列
2　開式のことば
3　成績発表
4　表彰
5　閉会のことば
6　閉式宣言
7　閉式のことば
8　選手退場

大　会　役　員

大会名誉会長	㈶日本バドミントン協会会長	櫻内義雄
大会名誉副会長	㈶日本バドミントン協会副会長	山口開生
	㈶日本バドミントン協会副会長	戸田清一
	㈶日本バドミントン協会副会長	綿貫民輔
	東京都バドミントン協会会長	清水務
大会会長	㈳全国高等専門学校体育協会会長	斉藤正三郎
大会副会長	㈶日本バドミントン協会専務理事	小飼栄一
	㈳全国高等専門学校体育協会バドミントン競技専門部部長	板谷良平
	東京都バドミントン協会副会長	浅岡武
	東京都バドミントン協会副会長	宮永武司
	東京都バドミントン協会副会長	武田昭二
	東京都バドミントン協会副会長	根岸知子
顧問	東京都知事	青島幸男
	東京都教育委員会教育長	市川正
	㈶東京都体育協会会長	鈴木俊一
	八王子市長	波多野重雄
	八王子市教育委員会教育長	田中博
	八王子市体育協会会長	盛吉順一
	㈶日本バドミントン協会顧問	佐々木洋平
		愛知和男
		岩崎純三
		吉川芳男
		奥田敬和
		沓掛哲男
		森喜朗
		林義郎
		関谷勝嗣
		森田一
		久間章生
		石渡俊一
		真藤恒
		奈良岡健三
		玉手庸

顧　　問	㈶日本バドミントン協会顧問	石　嶋　智三郎
		伊　藤　基　記
		加　藤　三　夫
		和　田　　寿
		上　田　敬　治
		杉　田　安　雄
		長　浦　音　吉
		宮　澤　宏　之
		村　上　忠　治
		八木橋　伸　夫
		柿　本　仁　臣
		佐　藤　　保
		塩　川　　甫
		橋　本　角　市
		相　場　清　一
		丸　山　嘉　久
		安　倍　淳　美
		植　田　博　宣
		高　倉　正　治
		秋　元　信　一
		平　田　登志郎
		柳　川　覚　治
		青　木　昭　二
		池　田　昌　道
		毛　利　清　志
参　　与	㈶日本バドミントン協会参与	川　端　昇　市
		高　橋　重　夫
		中　島　寿　禧
		五十里　光　秋
		内　多　小五郎
		小　宮　淳　宏
		吹　田　修　一
		並　木　萬次郎
		牧　野　　武
		村　山　幸　雄
		浜　中　　誠

参　　与	㈶日本バドミントン協会参与	福岡幸一
		伊豆　晃
		岡本武利
		本郷節生
		今北基夫
		菊地利明
		野村嘉明
		日高　壮
		渡辺成雄
		伊藤鑛一
		里見光徳
		増田保夫
		山根　怜
		佐藤芳朗
		北　義一
		堺　三徳
		岡村英男
		川島一郎
		富田善明
		藤本　滋
		藤原和文
		加藤寛治
		原　紀征
		板垣隆房
		権田正一
		小出沢　悟
		木村　寛
	東京都バドミントン協会参与	組村　昭
		清水善一
		鈴木　潔
		増田　稔
		福井正康
		前田耕作
		山崎博光
		杉山郁郎

大会委員長	㈶日本バドミントン協会専務理事	小飼栄一	
大会実行委員長	東京工業高等専門学校長	松本浩之	
大会副委員長	東京都バドミントン協会理事長	花岡牧夫	
	東京工業高等専門学校学生主事	阿久沢昇	
	㈳全国高等専門学校体育協会バドミントン競技専門部委員長	平木弘一	
大会役員	㈶日本バドミントン協会理事	上原信彦	今北基夫
		河原山晴夫	加藤博司
		四方光市	工藤勇参
		遠井稔男	神沢暁
		関根義雄	高橋英夫
		竹林克彦	濱中勉
		油井秀男	
	㈶日本バドミントン協会監事	高橋重夫	
		福田武	
		清水規矩雄	
	東京都バドミントン協会常務理事	小川弘	水雲智子
		彌永正信	池田公子
		今来サキ	石森敏男
		稲村昇	竹田ヒロ子
		近岡昭	柴田博樹
		山中達雄	久保田剛
		殿川宣勝	宮路秀憲
		稲石一雄	水上英二
		兒嶋昇	高橋英治
		石田純	
	㈳全国高等専門学校体育協会バドミントン競技専門部委員	遠藤剛	
		加藤治雄	
		小野雄一	
		所哲郎	
		伊藤直人	
		西山宗弘	
		赤松重則	
		龍頭信二	

競　技　役　員

派遣理事	㈶日本バドミントン協会理事	浅岡　武
総務委員長	東京部バドミントン協会理事長	花岡牧夫
総務副委員長	東京工業高等専門学校学生課長	大滝正史
	関東信越地区高等専門学校バドミントン競技専門部委員	小野雄一
	東京都バドミントン協会副理事長	千葉健夫
	東京工業高等専門学校	阿津勝博
総務委員	竹信　武　古屋正俊　鈴木智之　西村　亮	
	小川　弘　彌永正信　今来サキ　石森敏男	
	池田公子　水雲智子　青木栄次　小笹勝司	
	利重幸盛　諏佐登代　木村敏子　青木康敏	
	星野恵美子　井形定子　師岡照子　松石まり子	
競技委員長	東京都バドミントン協会競技部長	稲村　昇
競技副委員長	㈳全国高等専門学校体育協会バドミントン競技専門部委員長	平木弘一
競技委員	竹内ヒロ子　近岡　昭　柴田博樹　山中達雄	
	久保田剛　関　文正　鈴木利正　田中良雄	
	松尾良子　二村知恵子　丸山恭子　宮武典子	
	山下徳児	
審判長	東京都バドミントン協会審判部長	殿川宣勝
副審判長	東京都バドミントン協会常務理事	宮路秀憲
		水上英二
審判委員	稲石一雄　天沼　稔　浜口　登　関口邦雄	
	小竹次郎　古家米雄　井戸宣子　坂本節子	
	諸星佐代子　中路友子　木下ミチ　洗　八千代	
	堀口廣美　向後多美恵　桧山あさ子　仁藤絹子	
	篠　光子　萩原恵美子　伊藤ゆり子　大野英子	
	堀田美智子　桶本弘子　阿部安子　山村　永	

高橋幸枝	斉藤佳子	坂井敏美	岡野美千子
内田京子	吉城三栄子	四宮恵子	屋西美智子
石井喜恵子	橋本はるみ	早稲田邦子	武田純子
伊丹亮子	井上富子	亀田武志	浅田満
斉藤英雄			

第33回 全 国 高 等 専 門 学 校 体 育 大 会
第22回 全日本高等専門学校バドミントン選手権大会実施要項

1　主　　催　㈶日本バドミントン協会・㈳全国高等専門学校体育協会

2　主　　管　東京都バドミントン協会
㈳全国高等専門学校体育協会バドミントン競技専門部
東京工業高等専門学校

3　後　　援　文部省、㈶日本体育協会、東京都教育委員会、八王子市教育委員会
㈶東京都体育協会、八王子市体育協会

4　大会期日　平成10年８月８日（土）・９日（日）

5　大会会場　八王子市民体育館
住　所　　東京都八王子市台町２－３－７
電　話　　０４２６－２５－２３０５

6　競技種目　団体戦　　男子学校対抗
個人戦　　男子・女子　各単・複

7　団体戦のチーム構成人員
監督、コーチ、マネージャー各１名、選手４～８名とする。
ただし、欠員を生じ３名以下になった場合は失格とする。

8　参加資格　(1)　平成10年度　㈶日本バドミントン協会に登録を完了した者で、学校長が出場を認めた者。

(2)　団体戦、個人戦とも各地区から選抜されたチーム又は選手とし、これに開催校の出場を加える。
地区割り、選抜数及び開催校出場枠は下記のとおりとする。

地区名	団体戦	男子個人戦		女子個人戦	
		単	複	単	複
北海道	１チーム	１名	１組	２名	１組
東北	１チーム	２名	２組	２名	１組
関東・信越	２チーム	２名	２組	２名	１組
東海・北陸	２チーム	２名	２組	２名	２組
近畿	１チーム	２名	２組	２名	１組
中国	１チーム	２名	２組	２名	１組
四国	１チーム	２名	２組	２名	１組
九州	２チーム	２名	２組	２名	１組
開催校	１チーム	１名	１組	－－	－－
計	12チーム	16名	16組	16名	９組

9　競技規則　平成10年度　㈶日本バドミントン協会競技規則並びに本選手権大会実施要項による。

10　競技方法　(1)　各種目ともトーナメント戦方式により優勝を決定する。
なお、３位決定戦は行わない。

(2)　団体戦は１複２単とし、複から試合を行う。
また、同一選手が、複・単を兼ねることはできない。

11　組合わせ　組合わせは、東京都バドミントン協会及び本選手権大会実行委員会の責任において、7月28日（火）に作成する。

12　表　　彰　団体戦、個人戦とも第1位から第3位までを表彰する。

13　参加料　団体1チーム当たり12,000円、選手(団体戦出場者を除く)1人当たり1,500円とし、参加申込みと同時に次の振込口座へ納入すること。なお、既納の参加料は返還しない。

振込口座　金融機関名　山梨中央銀行　めじろ台支店
口座種別　普通預金
口座番号　４５９４９２
口　座　名　第33回全国高専体育大会経理責任者　大滝　正史
（ダイ 33 カイゼンコクコウセンタイイクタイカイケイ リ セキニンシャ　オオタキ　マサシ）

14　参加申込　平成10年7月25日（土）までに、所定の参加申込書を2部作成し、本選手権大会事務局宛に送付すること。

15　代表者会議　(1)　日　時　平成10年8月7日（金）
(2)　会　場　東京工業高等専門学校　会議室
(3)　出席者　監督及び主将

16　開会式及び閉会式
(1)　開会式　平成10年8月8日（土）八王子市民体育館
(2)　閉会式　平成10年8月9日（日）競技終了後、同会場で行う。
終了予定時刻　午後2時ごろ

17　その他　(1)　服　装
①　競技時の服装は、白色または（財）日本バドミントン協会甲種審査合格品とする。
②　上衣の背面中央に必ずゼッケンを付けること。
ゼッケンは、縦15cm、横30cm の大きさで白の布地に黒又は濃紺で学校名及び氏名を日本文字で明記すること。
ただし、上衣に学校名が明記されている場合には氏名のみでよい。
③　開会式、閉会式に参加するときの服装は、競技時の服装（ユニフォーム）又は、トレーニングウェアとする。

(2)　応急処置
選手の競技中の負傷については、開催校が応急処置を施すが、その後の処置は当該学校で行うこと。

(3)　練　　習
8月7日（金）午後1時から午後5時までの間、東京工業高等専門学校体育館で練習を行うことができる。

18　大会事務局　〒193－8610　東京都八王子市椚田町1220－2
東京工業高等専門学校　学生課　学生係
第33回全国高等専門学校体育大会
第22回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会事務局
ＴＥＬ　0426－68－5128　　ＦＡＸ　0426－68－5092

競技運営上の注意事項

1．本大会は、平成10年度（財）日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規定により実施いたします。
2．選手は試合予定時刻の30分前（各日とも第1試合は開始予定時刻の15分前）までに会場に到着しておいてください。
3．競技進行の都合上、試合時刻又は試合コートを変更することがありますので、本部の放送に注意してください。
4．本部がオーダー用紙の提出あるいは試合開始の放送を行った後、10分経過してもこれに従わない場合には、原則として棄権とみなします。
5．全試合において、試合前に３分間の練習時間を設けます。ただし、コートに到着してからの時間とします。
6．団体戦は、単・複同時に進行します。また、準決勝からは２点先取をもって打ち切りとします。ただし、複及び単１は必ず試合を終了させます。
7．個人戦が連続する場合は、10分間の休息時間を設けます。
8．試合中はコート外に出ないようにしてください。汗拭きタオル・ラケットなどは所定の位置のかごの中に入れておいてください。
9．競技区域内には出場選手及び監督・マネージャー・コーチ以外は立ち入らないでください。
10．閉会式は競技終了後直ちに行います。
11．所持品は各自の責任において管理してください。
12．会場使用上の注意事項は厳守してください。

審判上の注意事項

1．審判は、平成10年度　㈶日本バドミントン協会競技規則並びに㈶日本バドミントン協会公認審判員規定によって運営いたします。
2．サービスジャッジは置きませんが、プレーヤー並びに代表者から要請があれば主審の判断でつけます。
3．ファイナルの場合は、５分間以内のインターバルを設けます。
4．事故等の場合、主審及び審判長の協議の上、試合の継続又は棄権等の決定をします。
5．シャトルの飛距離などシャトルの良否については主審が判断します。
6．汗などでコートが濡れた場合には、主審に告げてください。線審に処置させます。

体育館使用上の注意事項

1．当体育館において、学生としてのマナーに十分心掛けてください。

2．放送に注意を払い、集合に遅れないようにしてください。

なお、ホール及び空きコートでの練習は一切禁止します。

3．貴重品、その他の所持品は各自の責任において管理してください。

4．２階の観覧席の選手控え席は地区ごとに表示してありますので、その席を御利用ください。

5．土足禁止です。なお，松ヤニ等の床を汚す滑り止めは使用禁止です。

6．ゴミ、空き缶の後始末をお願いします。ビニール袋を渡しますので、可燃物、不燃物に分けて午後２時までにホールの受付まで持ってきてください。

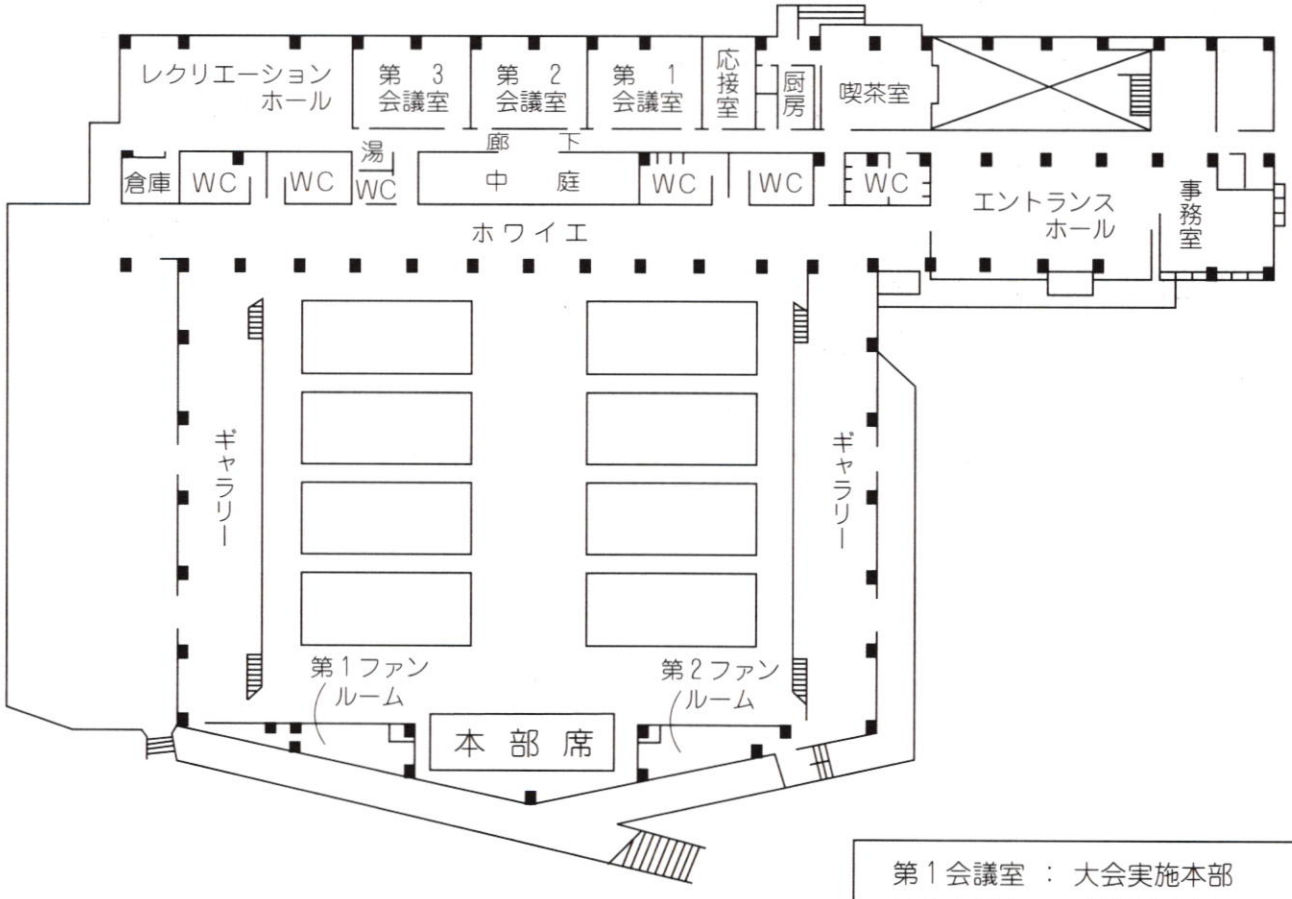
7．着替えは更衣室で行ってください。

8．会場におけるフラッシュ撮影は御遠慮ください。

9．雨天の場合、傘は会場に準備したビニール袋に入れて、各自保管してください。

大会会場　八王子市民体育館平面図

1 階平面図



第 1 会議室 ： 大会実施本部
第 2 会議室 ： 審判員等控室
第 3 会議室 ： 大会役員等控室

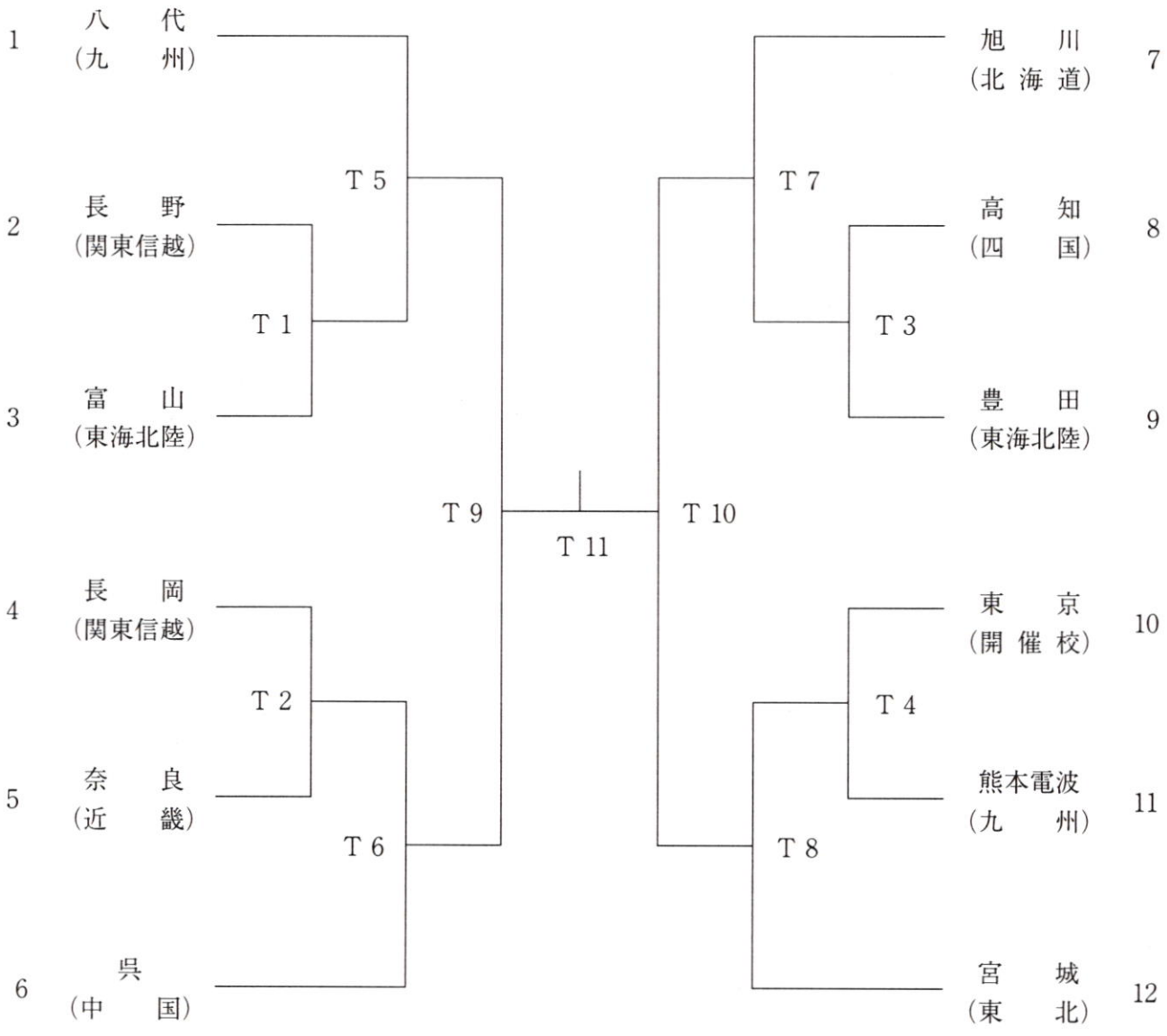
第３３回全国高等専門学校体育大会
第22回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会

タイムテーブル

	開始予定時刻	1	2	3	4		5	6	7	8
第一日	9：15	開会式								
	9：30	T－1		T－2			T－3		T－4	
	10：50	T－5		T－6			T－7		T－8	
	12：10	T－9		T－10			LD1			
	13：30	T－11					LD2	LD3	LD4	LD5
	14：50	MD1	MD2	MD3	MD4		MD5	MD6	MD7	MD8
	15：30	MD9	MD10	MD11	MD12			LD6	LD7	
	16：10		MD13	MD14				LD8		
	16：50		MD15							
第二日	9：30	MS1	MS2	MS3	MS4		MS5	MS6	MS7	MS8
	10：10	LS1	LS2	LS3	LS4		LS5	LS6	LS7	LS8
	10：50	MS9	MS10	MS11	MS12		LS9	LS10	LS11	LS12
	11：30		MS13	MS14				LS13	LS14	
	12：10		MS15					LS15		
	13：10	閉会式								

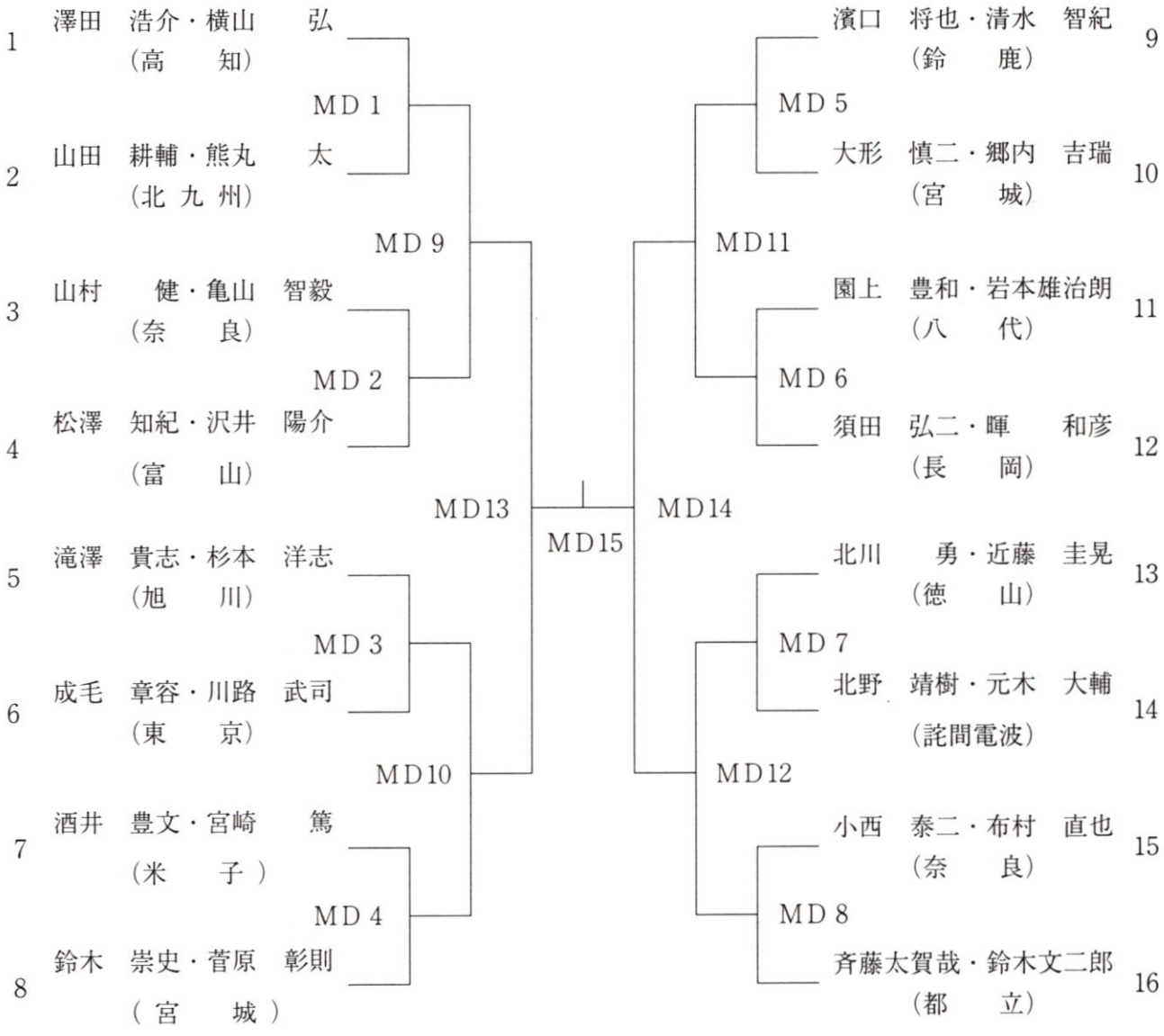
ただし，Tは団体戦，MDは男子個人戦複，MSは男子個人戦単，LDは女子個人戦複，LSは女子個人戦単を示す。

団　体　戦（T）


1
八　代
（九　州）
2
長　野
（関東信越）
3
富　山
（東海北陸）
4
長　岡
（関東信越）
5
奈　良
（近　畿）
6
呉
（中　国）
T 1
T 2
T 3
T 4
T 5
T 6
T 7
T 8
T 9
T 10
T 11
7
旭　川
（北 海 道）
8
高　知
（四　国）
9
豊　田
（東海北陸）
10
東　京
（開 催 校）
11
熊本電波
（九　州）
12
宮　城
（東　北）

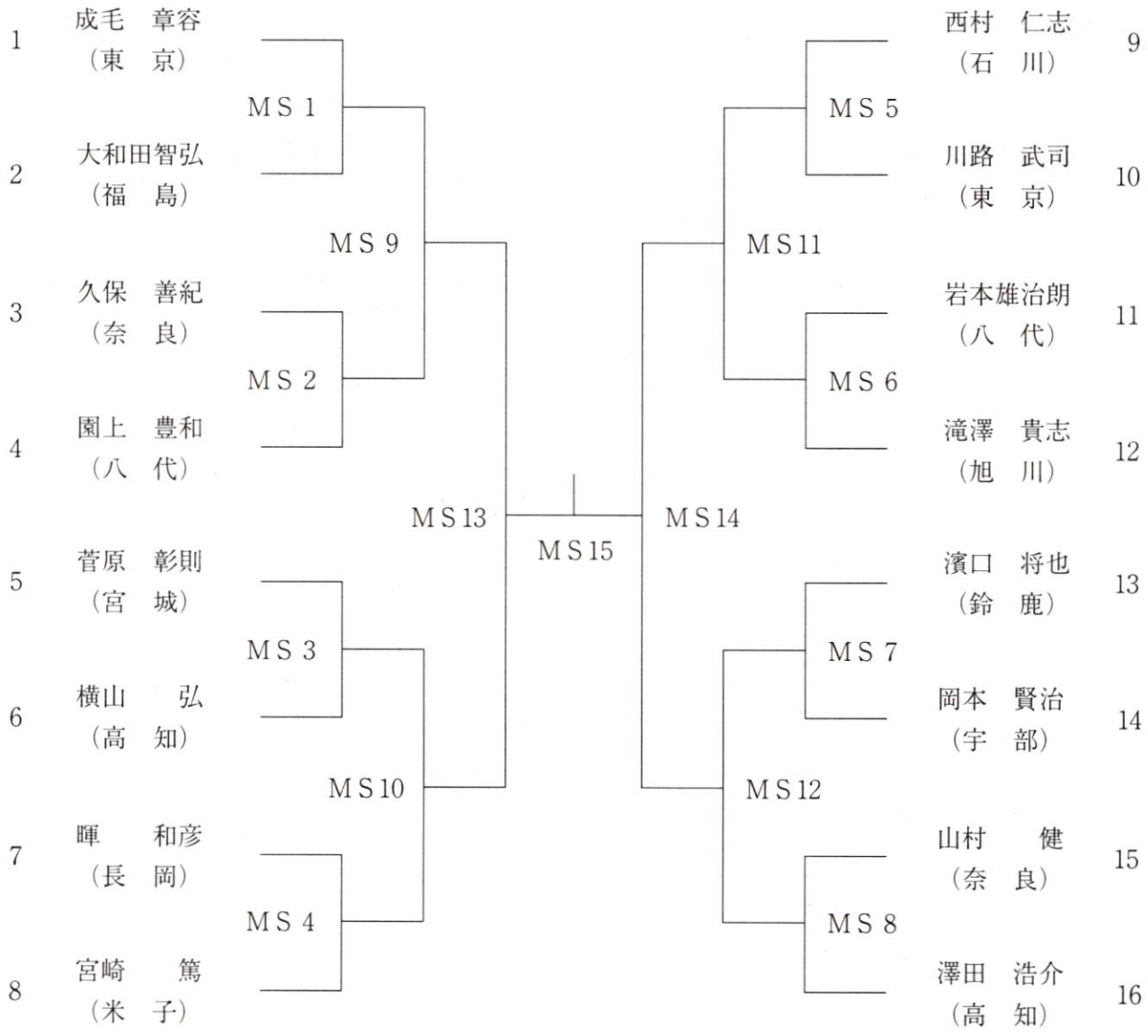
優勝		二位		三位	

男子個人戦複（ＭＤ）



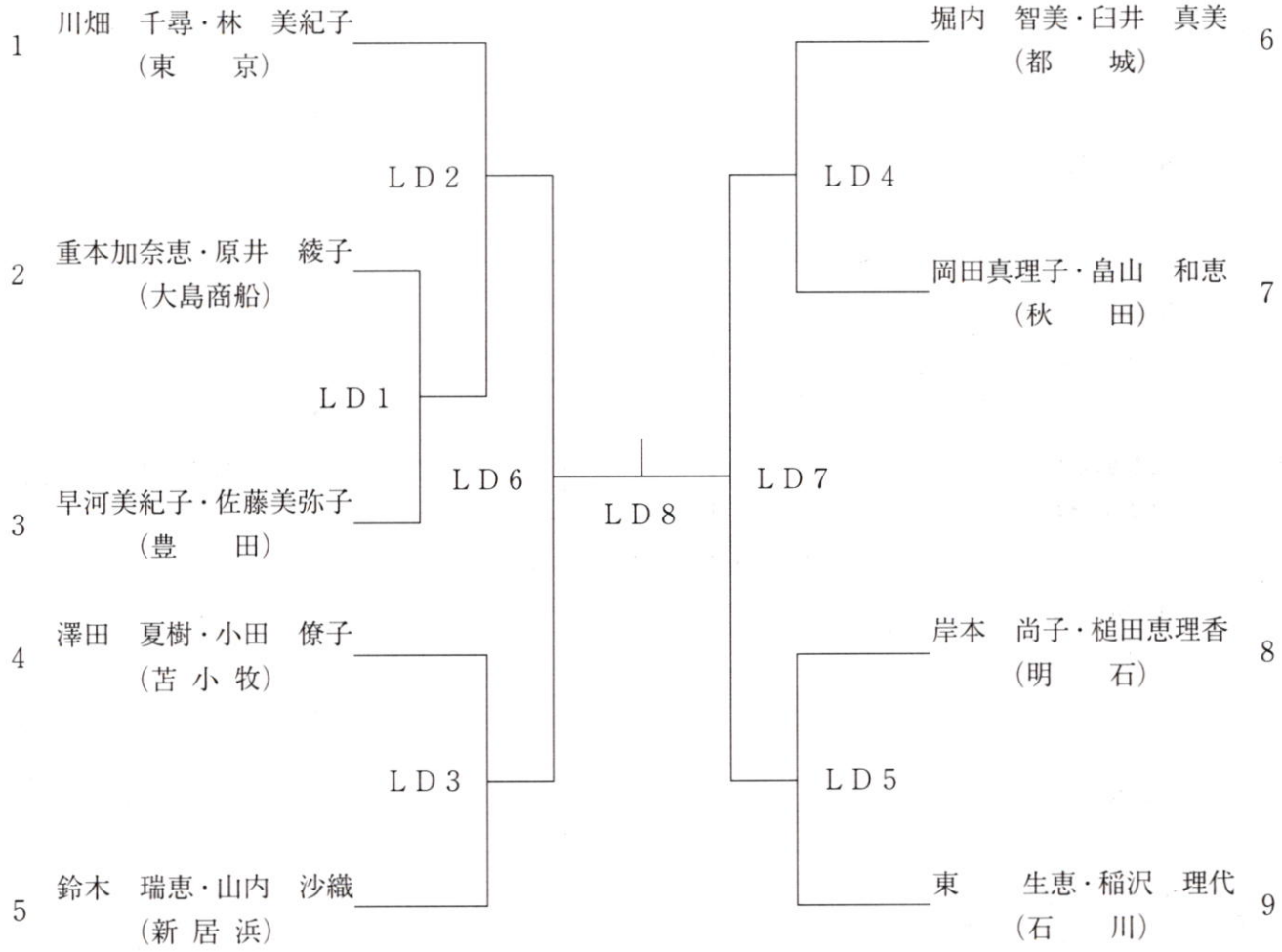
優勝		二位		三位	

男子個人戦単（ＭＳ）



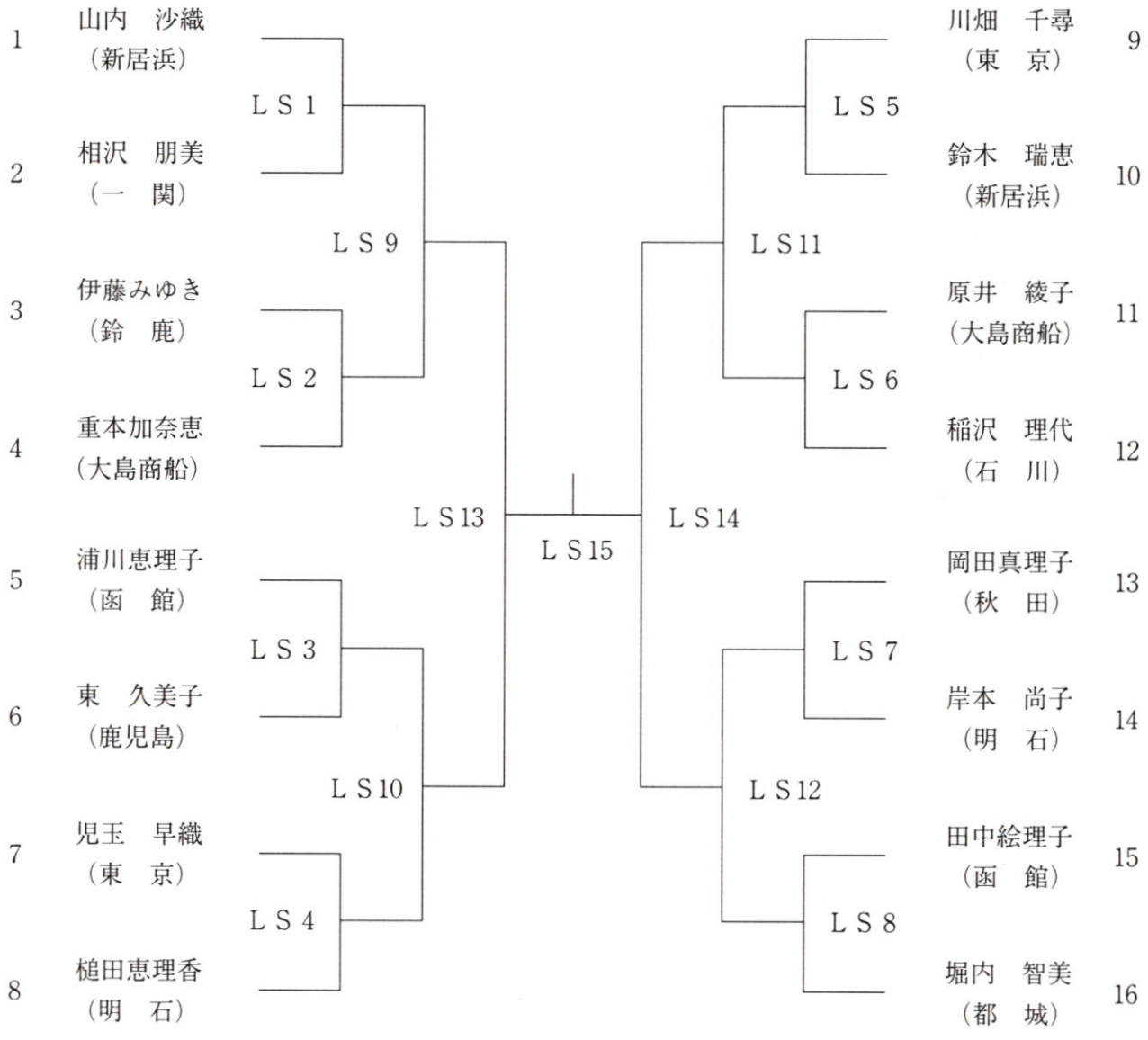
優勝		二位		三位	

女子個人戦複（ＬＤ）



優勝		二位		三位	

女子個人戦単（ＬＳ）



優勝		二位		三位	

選　手　名　簿

北海道地区

学校名	旭川工業高等専門学校
監督	遠藤　剛
コーチ	
マネージャー	

	選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	滝澤　貴志	5	○	①	①
2	杉本　洋志	4	○	①	
3	高見　直宏	4	○		
4	青葉　尚起	3	○		
5	水野　拓郎	3	○		
6	赤松　優	2	○		
7	布施　直樹	2	○		
8	吉田　明宏	2	○		

学校名	函館工業高等専門学校
監督	小原寿幸
コーチ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	浦川　恵理子	4			①
2	田中　絵理子	4			②

学校名	苫小牧工業高等専門学校
監督	三河佳紀
コーチ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	澤田　夏樹	4		①	
2	小田　僚子	2		①	

東　北　地　区

学　校　名	秋田工業高等専門学校
監　　督	田畑季章
コ　ー　チ	
マネージャー	富樫紗也華

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	岡田真理子（おかだまりこ）	4		①	①
2	畠山和恵（はたけやまかずえ）	4		①	

学　校　名	一関工業高等専門学校
監　　督	加藤治雄
コ　ー　チ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	相沢朋美（あいさわともみ）	3			②

学　校　名	宮城工業高等専門学校
監　　督	佐藤和彦
コ　ー　チ	大須賀弘行
マネージャー	佐藤利江

	選手名	学年	団体	個人	
				複	単
①	大形慎二（おおがたしんじ）	5	○	②	
2	鈴木崇史（すずきたかし）	4	○	①	
3	郷内吉瑞（ごうないよしみず）	4	○	②	
4	菅原彰則（すがわらあきのり）	4	○	①	①
5	清野広信（せいのひろのぶ）	4	○		
6	高橋透（たかはしとおる）	3	○		
7	菊地佐月（きくちさつき）	2	○		
8	森尚志（もりなおし）	2	○		

学　校　名	福島工業高等専門学校
監　　督	小林伸吉
コ　ー　チ	
マネージャー	

	選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	大和田智弘（おおわだともひろ）	5			②

関東信越地区

学校名	長岡工業高等専門学校
監督	片桐裕則
コーチ	
マネージャー	渡辺春美

	選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
①	須田弘二	4	○	③	
2	暉和彦	4	○	③	③
3	帰山智治	4	○		
4	高橋伸行	4	○		
5	小林倫丈	3	○		
6	原祐一郎	1	○		

学校名	長野工業高等専門学校
監督	植木良昇
コーチ	松平佳津
マネージャー	荒井友美

	選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	桑原敏和	4	○		
2	下平新	4	○		
3	山崎淳一	4	○		
4	野川雅広	4	○		
5	桐山伸一	4	○		
6	藤森崇史	3	○		
7	戸谷和貴	2	○		
8	山田幸太	2	○		

学校名	東京都立工業高等専門学校
監督	松本正樹
コーチ	
マネージャー	吉田正隆

	選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	斉藤太賀哉	4		②	
2	鈴木文二郎	4		②	

学校名	東京工業高等専門学校
監督	西村亮
コーチ	小島靖弘
マネージャー	赤石沢菜摘

	選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
①	長島隆	5	○		
2	川路武司	4	○	①	②
3	和田裕次	4	○		
4	小林貴行	4	○		
5	大熊一人	4	○		
6	堀込俊郎	3	○		
7	村川智洋	3	○		
8	成毛章容	2	○	①	①

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	川畑千尋	3		①	①
2	児玉早織	3			②
3	林美紀子	2		①	

東海北陸地区

学校名	豊田工業高等専門学校
監督	今岡克也
コーチ	杉山新治
マネージャー	梶田聡子

	選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
①	野中智治	4	○		
2	太田光昭	5	○		
3	石原康宏	5	○		
4	江口拓	5	○		
5	庄司知教	5	○		
6	江口周	4	○		
7	神谷翼	3	○		
8	林将司	2	○		

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	早河美紀子	4		①	
2	佐藤美弥子	4		①	

学校名	石川工業高等専門学校
監督	長岡健一
コーチ	小谷直人，北浜由紀
マネージャー	笠間洋平，林　康平

	選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	西村仁志	5			①

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	東生恵	4		①	
2	稲沢理代	3		①	①

学校名	鈴鹿工業高等専門学校
監督	奥野正明
コーチ	松田正徳
マネージャー	奥田雅史

	選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	濱口将也	5		①	①
2	清水智紀	4		①	

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	伊藤みゆき	4			①

学校名	富山工業高等専門学校
監督	安田賢生
コーチ	樂山英志
マネージャー	中田一臣

	選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	浅野裕史	5	○		
②	高畑琢磨	4	○		
3	丸山健一	4	○		
4	出水康仁	2	○		
5	松澤知紀	2	○	①	
6	沢井陽介	2	○	①	
7	髙田友哉	1	○		
8	志賀誠	1	○		

近畿地区

学校名	奈良工業高等専門学校
監督	中田敏夫
コーチ	押田至啓
マネージャー	佐伯昌彦

	選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	久保善紀	5	○		①
2	亀山智毅	5	○	①	
3	山村健	5	○	①	②
④	小西泰二	4	○	②	
5	山本正明	3	○		
6	布村直也	3	○	②	
7	栗田和幸	1	○		
8	榊原孝浩	1	○		

学校名	明石工業高等専門学校
監督	松井誠吾
コーチ	
マネージャー	岩中由紀

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	岸本尚子	4		①	②
2	槌田恵理香	1		①	①

中国地区

学校名	米子工業高等専門学校
監督	藤田忠義
コーチ	
マネージャー	松本徹也

	選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	酒井豊文	5		②	
2	宮崎篤	2		②	①

学校名	徳山工業高等専門学校
監督	櫻本逸男
コーチ	山本謙介
マネージャー	

	選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	北川勇	5		①	
2	近藤圭晃	2		①	

学校名	呉工業高等専門学校
監督	若宮正明
コーチ	垣内博文
マネージャー	丸岡弘晃

	選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	川畠竜	5	○		
②	和田賢悟	4	○		
3	徳田浩一	3	○		
4	森崎三裕	3	○		
5	宮武洋成	3	○		
6	玄場勇次	3	○		
7	三浦佑己	3	○		
8	高橋明	2	○		

学校名	宇部工業高等専門学校
監督	高橋正和
コーチ	
マネージャー	

	選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	岡本賢治	5			②

学校名	大島商船高等専門学校
監督	古本啓二
コーチ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	重本加奈恵	5		①	①
2	原井綾子	4		①	②

四　国　地　区

学　校　名	詫間電波工業高等専門学校
監　　督	奥　山　真　吾
コ　ー　チ	
マネージャー	

	選　手　名	学年	団体	個人	
				複	単
1	北野　靖樹（きたの　やすき）	2		②	
2	元木　大輔（もとき　だいすけ）	1		②	

学　校　名	新居浜工業高等専門学校
監　　督	三　井　　正
コ　ー　チ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	鈴木　瑞恵（すずき　みずえ）	5		①	②
2	山内　沙織（やまうち　さおり）	3		①	①

学　校　名	高知工業高等専門学校
監　　督	赤　松　重　則
コ　ー　チ	岸　本　誠　一
マネージャー	島　津　秀　登

	選　手　名	学年	団体	個人	
				複	単
1	澤田　浩介（さわだ　こうすけ）	5	○	①	①
2	橋本　隆志（はしもと　たかし）	5	○		
3	中林　昌宏（なかばやし　まさひろ）	5	○		
4	小山　栄治（こやま　えいじ）	5	○		
5	山崎　晴生（やまさき　はるお）	4	○		
6	横山　弘（よこやま　ひろし）	4	○	①	②
7	鍵山　泰一（かぎやま　たいち）	4	○		
8	野中　啓一郎（のなか　けいいちろう）	3	○		

九州地区

学校名	北九州工業高等専門学校
監督	白神　宏
コーチ	
マネージャー	渡辺　依里子

	選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	山田　耕輔	1		②	
2	熊丸　太	1		②	

学校名	熊本電波工業高等専門学校
監督	古江　研也
コーチ	石原　秀樹
マネージャー	大森　淳史

	選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	東　康司	5	○		
2	前田　優毅	5	○		
3	丸山　康晴	4	○		
4	津下　裕二	4	○		
5	長濱　佳之	4	○		
6	仲地　智	3	○		
7	遠山　実	2	○		
8	松岡　宏之	2	○		

学校名	八代工業高等専門学校
監督	久保田　智
コーチ	濱邉　裕子
マネージャー	富田　祐加

	選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	平木　俊秀	5	○		
②	岩本　達也	4	○		
3	岩本　雄治朗	3	○	①	②
4	園上　豊和	3	○	①	①
5	山尾　高史	3	○		
6	古賀　岳	3	○		
7	前田　泰幸	2	○		
8	緒方　拓哉	1	○		

学校名	都城工業高等専門学校
監督	藤永　伸
コーチ	松山　哲男
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	堀内　智美	4		①	①
2	臼井　真美	4		①	

学校名	鹿児島工業高等専門学校
監督	小暮　晴美
コーチ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	東　久美子	3			②

栄光の記録

大会	会場	種目	1位	2位	3位	
第一回	旭川	団体	宮城	長岡	佐世保	釧路
		個人（複）	山本和徳 平間次男 （宮城）	小林俊仁 池為弘 （旭川）	阿部順一 吉井正浩 （苫小牧）	
		個人（単）	小林俊仁 （旭川）	池為弘 （旭川）	本間道英 （長岡）	
第二回	宮城	団体	宮城	旭川	佐世保	長岡
		個人（複）	昆野良久 太田博道 （宮城）	小野裕 松浦勇 （宮城）	小山馨 谷茂則 （福井）	玉村嘉男 小竹原勝浩 （福井）
		個人（単）	昆野良久 （宮城）	金山尚幸 （高松）	小山馨 （福井）	小野裕 （宮城）
第三回	福井	団体	宮城	長岡	福井	旭川
		個人（複）	土田実 土田外志夫 （富山）	堀江定 永桶俊一 （長岡）	小野裕 松浦勇 （宮城）	大須賀弘行 竹内実 （宮城）
		個人（単）	大須賀弘行 （宮城）	山本憲幸 （旭川）	金山尚幸 （高松）	大久保ひとし （舞鶴）
第四回	米子	団体	長岡	米子	新居浜	鶴岡
		個人（複）	中本泰司 山本明良 （米子）	山田和彦 大須賀弘行 （宮城）	田沢寿一 館山健逸 （八戸）	涌井正樹 神田実 （長岡）
		個人（単）	中本泰司 （米子）	日野豊 （新居浜）	砂野修治 （新居浜）	小竹原勝治 （福井）
第五回	新居浜	団体	新居浜	長岡	米子	宮城
		個人（複）	神田実 涌井正樹 （長岡）	日野豊 砂野修治 （新居浜）	田沢寿一 館山健逸 （八戸）	大須賀弘行 工藤洋之 （宮城）
		個人（単）	涌井正樹 （長岡）	日野豊 （新居浜）	中本泰司 （米子）	林浩一郎 （長岡）
第六回	北九州	団体	新居浜	米子	宮城	石川
		個人（複）	白石健司 堀内敬一 （新居浜）	中野浩之 酒井充英 （石川）	林浩一郎 岡村孝生 （長岡）	小野隆則 小島克 （北九州）
		個人（単）	林浩一郎 （長岡）	中本泰司 （米子）	山本明良 （米子）	蜂谷順 （茨城）
第七回	奈良	団体	石川	米子	高知	福島
		個人（複）	酒井充英 中松章一 （石川）	南康一 平沢則昭 （福井）	伊藤浩 岡村孝生 （長岡）	広原洋司 小室勤三 （茨城）
		個人（単）	小田高博 （高知）	南康一 （福井）	吉見正 （茨城）	山根直樹 （津山）
第八回	東京	団体	福島	新居浜	長岡	富山
		個人（複）	広原洋司 小室勤三 （茨城）	坂井政彦 前田栄造 （富山）	小田高博 北村竜 （高知）	鶴田浩康 秋山享 （新居浜）
		個人（単）	小田高博 （高知）	山根直樹 （津山）	小谷清史 （米子）	中西英夫 （東京）
第九回	苫小牧	団体	福島	新居浜	旭川	東京
		個人（複）	大場岳史 田口義紀 （仙台電波）	太田海 阿部浩 （鶴岡）	城戸吉己 秋山亨 （新居浜）	中西英夫 福田正宏 （東京）
		個人（単）	黒沢勝敏 （福島）	飯塚俊三 （福島）	酒井謙一 （福島）	秋山亨 （新居浜）

大会	会場	種目		1位	2位	3位	
第十回	福島	団体		福島	新居浜	佐世保	旭川
		個人（複）		酒井謙一 黒沢勝敏 （福島）	飯塚俊三 薄葉淳 （福島）	中西英夫 福田正宏 （東京）	田中博幸 山口誠 （佐世保）
		個人（単）		黒沢勝敏 （福島）	飯塚俊三 （福島）	井手利秀 （佐世保）	渡邊清隆 （佐世保）
第十一回	鈴鹿	団体		佐世保	茨城	津山	都立工
		個人（複）		井手利秀 渡邊清隆 （佐世保）	西田光宏 谷本直文 （高知）	金浦新吾 横井善充 （新居浜）	薄葉淳 福田健太郎 （福島）
		個人（単）		井手利秀 （佐世保）	渡邊清隆 （佐世保）	薄葉淳 （福島）	堀部豊美 （苫小牧）
第十二回	津山	団体		佐世保	熊本電波	都立工	福島
		個人（複）		六嘉孝信 郷健太郎 （熊本電波）	堀込竜也 元吉光一 （都立工）	辻勉 木下聡 （佐世保）	西村雄 渡邊清隆 （佐世保）
		個人（単）		渡邊清隆 （佐世保）	元吉光一 （都立工）	細川智之 （奈良）	田中真二 （宇部）
第十三回	新居浜	団体		佐世保	熊本電波	福島	富山
		個人（複）		渡邊清隆 濱野達矢 （佐世保）	野原嘉親 作内宗明 （富山）	林利和 樋口三明 （新居浜）	若林政昭 楢原健蔵 （神戸市立）
		個人（単）		渡邊清隆 （佐世保）	久保正高 （高知）	本木実 （熊本電波）	斎藤賢 （秋田）
第十四回	熊本	団体		熊本電波	東京	福島	新居浜
		男子	個人（複）	中島信頼 坂巻五郎 （東京）	上野敏弘 本木実 （熊本電波）	高畑憲明 持本治幸 （呉）	高畠剛 蔵本茂雄 （石川）
		男子	個人（単）	中島信頼 （東京）	本木実 （熊本電波）	田中史八 （旭川）	高畑憲明 （呉）
		女子	個人（複）	小野祐里 三原久美 （新居浜）	安藤里美 新宅博子 （奈良）	松原ゆかり 斉藤早智子 （旭川）	中村律子 及川由紀 （一関）
		女子	個人（単）	松原ゆかり （旭川）	上野真奈 （高知）	酒本亜希子 （津山）	安藤里美 （奈良）
第十五回	神戸	団体		福島	石川	旭川	宇部
		男子	個人（複）	井上晃志 井上大輔 （新居浜）	田尻真一 紫垣竜一 （熊本電波）	小西貴生 松尾富雄 （石川）	松尾勝司 鎌田聡 （苫小牧）
		男子	個人（単）	中村一義 （福島）	蔵本茂雄 （石川）	田尻真一 （熊本電波）	安藤毅 （奈良）
		女子	個人（複）	安藤里美 新宅博子 （奈良）	小野祐里 三原久美 （新居浜）	石橋友加 平田宏美 （有明）	斉藤卓智子 松原ゆかり （旭川）
		女子	個人（単）	安藤里美 （奈良）	松原ゆかり （旭川）	上野真奈 （高知）	平尾なみ （高知）
第十六回	茨城	団体		宇部	苫小牧	福島	新居浜
		男子	個人（複）	立石健一 城戸幸信 （有明）	本田秀一 松原輝 （長岡）	小笹優 渡辺秀樹 （福島）	井上大輔 宮本誠司 （新居浜）
		男子	個人（単）	安藤毅 （奈良）	塩見浩二 （新居浜）	松岡利幸 （宇部）	ルディ・ハンジャヤ （鈴鹿）
		女子	個人（複）	泉真由美 築城久美子 （奈良）	三次真美 紫垣智美 （熊本電波）	平田宏美 宮木理恵 （有明）	三條公美子 高橋千春 （苫小牧）
		女子	個人（単）	平田宏美 （有明）	紫垣智美 （熊本電波）	松原ゆかり （旭川）	谷智美 （呉）

大会	会場	種目		1位	2位	3位	
第十七回	米子	団体		宇部	有明	長岡	奈良
		男子	個人(複)	安藤 毅 岸谷 征典 (奈良)	松尾 勝司 鎌田 聡 (苫小牧)	立石 健一 城戸 幸信 (有明)	松原 輝 高橋 章 (長岡)
		男子	個人(単)	安藤 毅 (奈良)	高橋 章 (長岡)	安田 春二 (高松)	牧嶋 隆光 (有明)
		女子	個人(複)	泉 真由美 築城 久美子 (奈良)	高橋 千春 戸子台 明日香 (苫小牧)	岩佐 美佳 稲田 真由子 (米子)	福島 千夏 渡辺 真由子 (石川)
		女子	個人(単)	泉 真由美 (奈良)	松原 ゆかり (旭川)	青山 美由紀 (秋田)	稲田 真由子 (米子)
第十八回	八戸	団体		苫小牧	有明	佐世保	福島
		男子	個人(複)	福家 信洋 山口 真治 (奈良)	鎌田 聡 井口 一行 (苫小牧)	板橋 淳一 古橋 健 (仙台電波)	磯部 貴弘 堺 博明 (富山)
		男子	個人(単)	エディ・スウェイト (久留米)	高橋 章 (長岡)	鈴木 直人 (福島)	福家 信洋 (奈良)
		女子	個人(複)	平田 宏美 永松 瑞穂 (有明)	松原 ゆかり 楠野 由佳 (旭川)	伊藤 寿子 大久保 範子 (宮城)	泉 真由美 築城 久美子 (奈良)
		女子	個人(単)	紫垣 智美 (熊本電波)	永松 瑞穂 (有明)	泉 真由美 (奈良)	鴨川 奈緒 (東京)
第十九回	舞鶴	団体		奈良	函館	北九州	呉
		男子	個人(複)	浅野 慎吾 古橋 健 (仙台電波)	江本 智彦 小池 幸裕 (宮城)	前田 孝彦 園田 高士 (八代)	下田 託郎 小川 修 (苫小牧)
		男子	個人(単)	古橋 健 (仙台電波)	本山 宏土 (呉)	福家 信洋 (奈良)	高橋 章 (長岡)
		女子	個人(複)	平田 宏美 永松 瑞穂 (有明)	稲田 真由子 佐藤 久美 (米子)	植松 悦子 塩崎 雪乃 (新居浜)	伊藤 寿子 大久保 範子 (宮城)
		女子	個人(単)	紫垣 智美 (熊本電波)	永松 瑞穂 (有明)	稲田 真由子 (米子)	鴨川 奈緒 (東京)
第二十回	大分	団体		八代	宇部	旭川	佐世保
		男子	個人(複)	江本 智彦 小池 幸裕 (宮城)	福家 信洋 山口 真治 (奈良)	宮崎 宏志 川田 恵寛 (宇部)	渡邉 泰彦 高橋 正巨 (函館)
		男子	個人(単)	甲斐 義樹 (北九州)	宮崎 宏志 (宇部)	伊藤 聖幸 (秋田)	小池 幸裕 (宮城)
		女子	個人(複)	森崎 優子 富田 祐加 (八代)	渡辺 真由子 稲沢 理代 (石川)	鴨川 奈緒 川畑 千尋 (東京)	高橋 千春 戸子台 明日香 (苫小牧)
		女子	個人(単)	紫垣 智美 (熊本電波)	楠野 由佳 (旭川)	稲沢 理代 (石川)	堀内 智美 (都城)
第二十一回	岐阜	団体		八代	仙台電波	苫小牧	呉
		男子	個人(複)	澤田 浩介 横山 弘 (高知)	斯波 順一 斉藤 太賀哉 (東京都立)	板橋 明智 吉開 亮介 (有明)	安藤 俊雄 鹿屋 啓一 (詫間電波)
		男子	個人(単)	堺 博明 (富山)	今村 悦朗 (新居浜)	大江 祐介 (岐阜)	仲山 久也 (苫小牧)
		女子	個人(複)	鴨川 奈緒 川畑 千尋 (東京)	富田 祐加 森崎 優子 (八代)	渡辺 真由子 稲沢 理代 (石川)	中野 裕貴枝 田中 香織 (新居浜)
		女子	個人(単)	鴨川 奈緒 (東京)	山内 沙織 (新居浜)	堀内 智美 (都城)	楠野 由佳 (旭川)

競技成績記録用紙

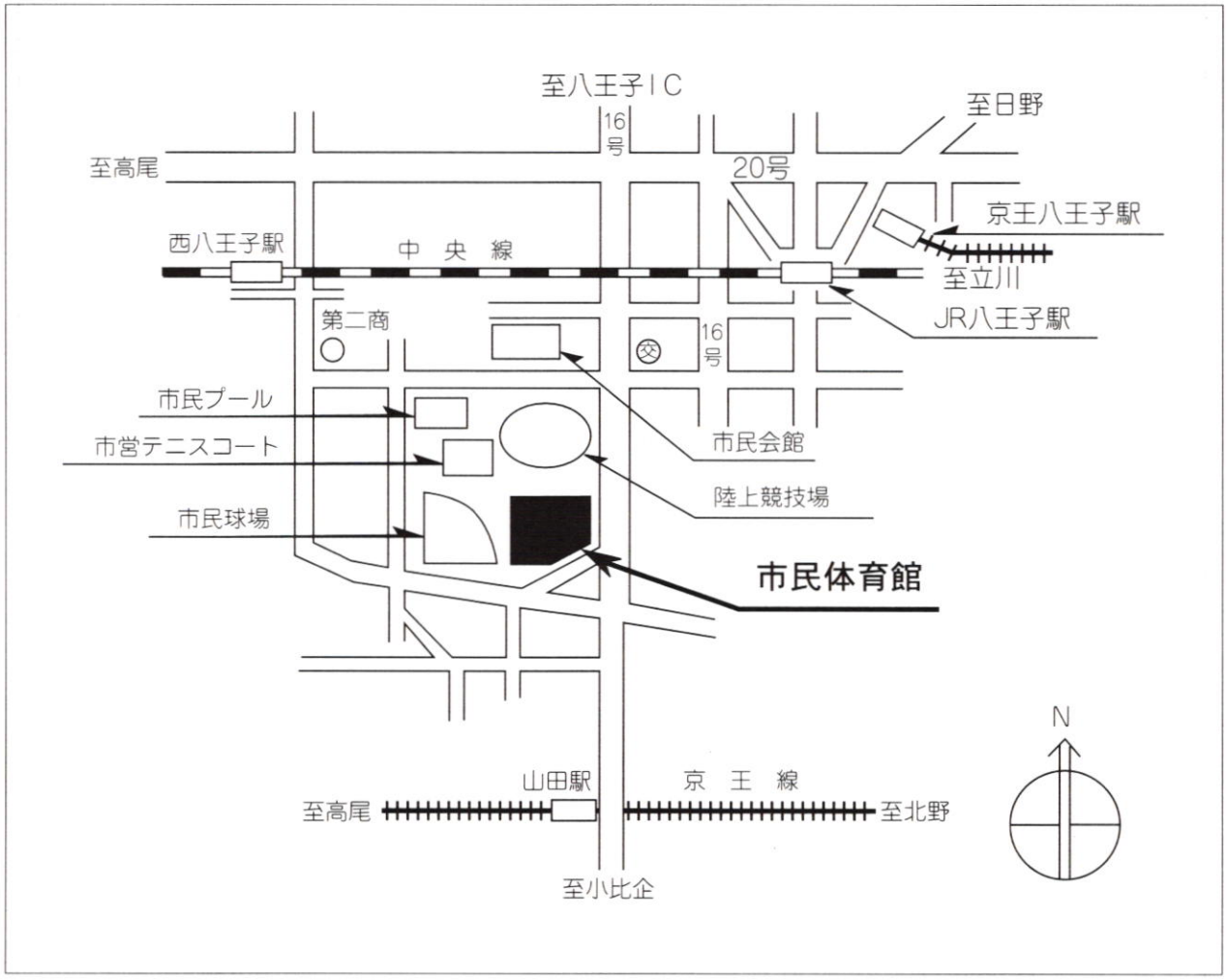
＝団体戦＝

試合No.		（　　）高専　対（　　）高専	
D		（　）［　－　－　－　］（　）	
S 1		（　）［　－　－　－　］（　）	
S 2		（　）［　－　－　－　］（　）	
試合No.		（　　）高専　対（　　）高専	
D		（　）［　－　－　－　］（　）	
S 1		（　）［　－　－　－　］（　）	
S 2		（　）［　－　－　－　］（　）	
試合No.		（　　）高専　対（　　）高専	
D		（　）［　－　－　－　］（　）	
S 1		（　）［　－　－　－　］（　）	
S 2		（　）［　－　－　－　］（　）	
試合No.		（　　）高専　対（　　）高専	
D		（　）［　－　－　－　］（　）	
S 1		（　）［　－　－　－　］（　）	
S 2		（　）［　－　－　－　］（　）	

＝個人戦＝

No.	選　手　名	ス　コ　ア	選　手　名
		(　) [— — —] (　)	
		(　) [— — —] (　)	
		(　) [— — —] (　)	
		(　) [— — —] (　)	
		(　) [— — —] (　)	
		(　) [— — —] (　)	
		(　) [— — —] (　)	
		(　) [— — —] (　)	
		(　) [— — —] (　)	
		(　) [— — —] (　)	
		(　) [— — —] (　)	
		(　) [— — —] (　)	
		(　) [— — —] (　)	

競　技　会　場　案　内　図
（八王子市民体育館）



【交通手段】

❶ ＪＲ八王子駅北口よりバス 13 分
〈4 番 7 番のりば〉 富士森公園経由
- 法政大学行
- 西八王子駅南口行
- 東京家政学院行
- グリーンヒル寺田行
- 上大船行

❷ ＪＲ西八王子駅南口よりバス 5 分
- 京王八王子駅行

❸ 京王線山田駅より徒歩 13 分

※バス御利用の方は、いずれも市民体育館で下車してください。

協　賛

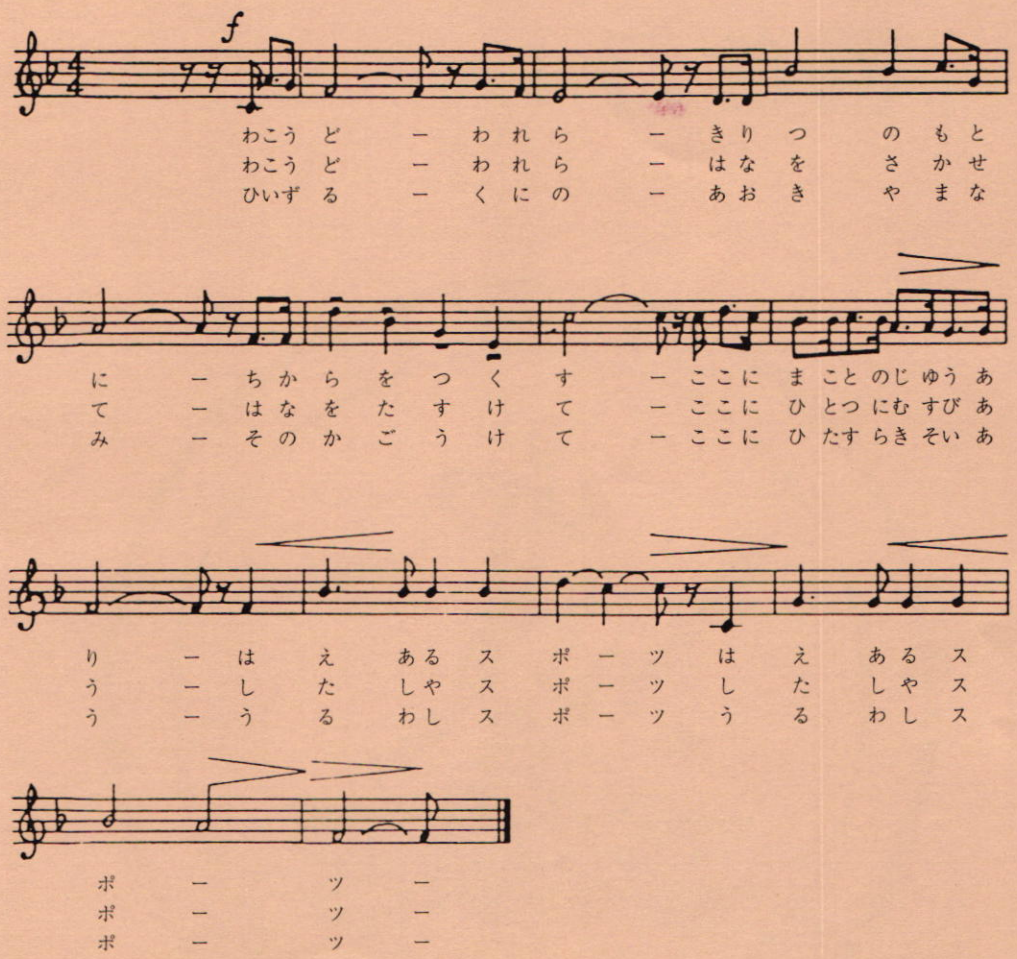
東京工業高等専門学校同窓会	
三菱電機ビルテクノサービス株式会社	
綜合警備保障株式会社	
旭化成工業株式会社	株式会社関電工
クリエートシステム開発株式会社	新東電算株式会社
大信工業株式会社	大日本インキ化学工業株式会社
中外製薬株式会社	株式会社デイ・エス・テック東京
東芝エレベータテクノス株式会社	東芝メディカル東京サービス株式会社
ハイウェイ・トールシステム株式会社	株式会社ヒノデン
フジタ製薬株式会社	ポーライト株式会社
三菱重工業株式会社	ユーキャン株式会社
雪印乳業株式会社	（五十音順）

メ　　モ

全国高専体育大会の歌

山口誓子　作詞
大橋　博　作曲

行進曲



一、
若人吾等
規律の下に
力を尽くす
ここにまことの
自由あり
栄あるスポーツ
栄あるスポーツ

二、
若人吾等
花を咲かせて
花を援けて
ここに一つに
結び合ふ
親しやスポーツ
親しやスポーツ

三、
日出づる国の
青き山脈
その加護受けて
ここにひたすら
競い合ふ
美しスポーツ
美しスポーツ

大会スローガン

競え、より輝け、若き力！



シンボルマーク

関東信越地区